

# 2020 World Wide Digi DX コンテスト

**開始:** 8月29日 土曜日 12:00:00 UTC

**終了:** 8月30日 日曜日 11:59:59 UTC

**I. 目的:** 全世界のアマチュア局が FT4 と FT8 のモードを使用して、できるだけ多くのメイデンヘッド・グリッド・スクエアの他のアマチュアとコンタクトすること。

**II. バンド:** 6 バンドのみ: 1.8, 3.5, 7, 14, 21 および 28 MHz.

## **A. FT4 推奨サブバンド:**

1.840-1844  
3.580-3.590  
7.080-7.090  
14.080-14.090  
21.080-21.090  
28.080-28.090

受信機のダイヤルをサブバンドの下端にセットして、一般的に 2.5-4kHz のパスバンド中の、可聴周波上の局と交信する。サブバンドが混雑した場合は、必要に応じて、2kHz の増分で受信機のダイヤル周波数を移動させる。(例: 7.080、7.082、7.084、7.086 および 7.088)

## **B. FT8 推奨サブバンド:**

1.844-1.848  
3.590-3.600  
7.090-7.100  
14.090-14.100  
21.090-21.100  
28.090-28.100

受信機のダイヤルをサブバンドの下端にセットして、一般的に 2.5-4kHz のパスバンド中の、可聴周波上の局と交信する。サブバンドが混雑した場合は、必要に応じて、2kHz の増分で受信機のダイヤル周波数を移動させる。(例: 7.090、7.092、7.094、7.096 および 7.098)

## **C. 80 および 40 メーターの JA サブバンド:**

FT4:  
3.528 (JA-JA), 3.570 (JA-DX)  
7.038 (JA-JA), 7.080-7.090 (JA-DX)  
FT8:  
3.531 (JA-JA), 3.573 (JA-DX)  
7.041 (JA-JA), 7.090-7.100 (JA-DX)

**III. コンテストナンバー:** 4 桁のグリッドスクエア。

#### IV. 得点計算:

**A. 得点:** 最終得点は、すべてのバンドにおける QSO 得点の合計と、すべてのバンドにおける2文字のグリッド・フィールドの合計を乗じて算出される。

例: 1000 QSO 得点 \* (70 グリッド・フィールド) = 70,000 (最終得点)。

**B. QSO 得点:** QSO は、バンドにつき一度だけ、FT4 か FT8 のどちらかで、得点される。QSO は 1 点 + QSO 相手のグリッド・スクエアの中心との距離の 3000km ごとに 1 点。(例、5541km = 2 点)。実際の信号のパスにかかわらず、ショートパスの距離が使用される。

**C. マルチプレイヤー:** 各バンドにおける、異なる 2 桁のグリッド・フィールドにつき 1 つ。

#### V. 参加部門:

**A. シングルオペレーター部門:** すべての運用とロギングを一人 (1オペレーター) で行うこと。一度に送信できるのは 1 つのバンドだけ。バンド変更に制限はない。いかなる種類の QSO 発見アシスタンスも許可される。

##### 1. シングルオペレーター:

**a. ハイパワー (オールバンドまたはシングルバンド):** 合計出力が 1500 ワットを超えないこと。

**b. ローパワー (オールバンドまたはシングルバンド):** 合計出力が 100 ワットを超えないこと。

**c. QRP (オールバンドまたはシングルバンド):** 合計出力が 5 ワットを超えないこと。

**B. マルチオペレーター部門 (オールバンドのみ):** 何人のオペレーターでも許される。

**1. シングルTX (MULTI-ONE):** いかなる瞬間においても一つのバンド上で一波のみの送信が許される。バンドの切り替えは毎時(00~59 分) 8 回までに制限される。

**a. ハイパワー:** 合計出力は、どのバンド上のいかなる瞬間においても 1500 ワットを超えないこと。

**b. ローパワー:** 合計出力は、どのバンド上のいかなる瞬間においても 100 ワットを超えないこと。

**2. 2TX (MULTI-TWO):** バンドが異なれば、いつでも最大で二波までの送信が許される。ログにどちらの送信機で QSO したかを明記すること。それぞれの送信機は、毎時(00~59 分) 8回までバンドを変更できる。合計出力は、どのバンド上のいかなる瞬間においても 1500 ワットを超えないこと。

**3. マルチTX (MULTI-UNLIMITED):** 6つのコンテスト・バンドで同時に運用できる。合計出力は、どのバンド上のいかなる瞬間においても 1500 ワットを超えないこと。

**C. チェックログ:** ログのチェックを支援するために提出される。得点は順位に反映されず、ログが公開されることはない。

**VI. アワード:** シングルバンドのログはシングルバンドのアワードのみ対象となる。1つ以上のバンドを含むログは、シングルバンドエントリーとして指定されなかった場合、オールバンドのエントリーと判断される。

**A. 賞状:** ログの締め切りまでにエントリーしたすべての局は電子的な賞状がダウンロードできる。

**B. 楯:** 楯はいくつかの対象部門の、最高の成績に対して与えられる。楯の対象部門とスポンサーのリストは [www-digi.com/plaques.htm](http://www-digi.com/plaques.htm) を参照のこと。参加1局に対し1つの楯のみ受賞対象となる。楯の受賞者はサブ部門のアワード対象とはならない。楯はその部門の次点者に与えられる。

**VII. クラブ対抗:** メンバーから提出された得点の合計がクラブの得点となる。クラブ対抗には、二つの部門がある。

**A. アメリカ・クラブ:** 参加は、クラブの区域の中心から半径 250 マイルの円内に居住し運用するクラブ・メンバーに限られる。

**B. DX クラブ:** 参加は、クラブが所在する DXCC カントリーかクラブの区域の中心から半径 400 キロメートルの円内に居住し運用するクラブ・メンバーに限られる。(クラブのエリア内に住むメンバーによって行われる、コンテストのため特に計画されたペディションを除く。)

**C. クラブ対抗の一般ルール:**

1. 全国組織(例: JARL、REF、DARC)は、クラブ対抗には参加できない。
2. シングルオペレーター部門の参加者は、一つのクラブにのみ得点を計上できる。マルチオペレーターのスコアは、ログに示されたクラブ・メンバー数の比率で複数のクラブに分配できる。ログには、クラブのフルネームを(かつ、マルチ OP の場合はクラブへの配分も)記載すること。
3. 結果発表に掲載されるためには、最低 4 局からログが提出されていること。チェックログはクラブの得点に計上されない。
4. 「居住」という単語は次のように定義される: 永続的あるいは連続的に住むこと、または法的な目的のために個人が定め、永続的かつ主要な家庭としての場所を占有すること。

**VIII. 用語の定義:**

**1. 運用場所:** すべての送信機、受信機およびアンテナが配置されているエリア。すべての送信機、受信機、アンテナは直径 500 メートルの円内に収まっていること。すべてのアンテナは、送信機と受信機に物理的に RF 伝送ケーブルで接続されていること。

**2. グリッド・フィールド:** メイデンヘッド・ロケータシステムの最初の 2 文字。A~R の各文字からなる文字列は、合計 324 のグリッド・フィールドで地球上の位置を示す。これらは各バンド上のマルチプライヤーとなる。

**3. グリッド・スクエア:** メイデンヘッド・ロケータシステムの最初の 4 文字。最初の 2 文字は、上に定義されるグリッド・フィールド。次の 2 文字は、それぞれ 0~9 の数字で、合計 32,400 のグリッド・スクエアで地球上の位置を示す。これらはナンバー交換、および QSO 得点の計算に使用される。

#### **IX. すべての参加者に適用されるルール:**

**1.** すべての参加者は、最終スコアに影響を与える全ての活動をそれぞれが選んだ部門に定められた範囲内で運用しなければならない。

**2.** 複数の部門への参加は、別々のコールサインを使用すること。スコア増加には参加局のコールサインのみが使用できる。

**3.** いかなるバンドにおいても選択した部門に定められた合計出力制限を越えてはならない。当該バンドの合計出力は、動作しているアンプの出力端で測定する。

**4.** セルフスポットまたはスポットを他局に依頼することは禁止。

**5.** 遠隔操作による運用は、すべての送信機、受信機およびアンテナの、物理的な位置が1カ所である場合にのみ許される。遠隔操作局は局免許、従事者免許および参加部門の制限を遵守すること。使用するコールサインは、局所在地の監督当局によって発行されるか、許可されたものでなければならない。

**6.** 運用場所の外部におけるリモート受信は禁止。

**7.** 同一バンドで 2 つ以上の周波数で交互に CQ を出すことは禁止。

**8.** 交信の勧誘、呼び出しに対する応答、コールサインの記録およびナンバー交換は、すべてコンテストのモードおよび周波数を使用して、コンテストの期間中に行われたものであること。

**9.** データ・ベース、録音、電子メールあるいは他の方法を使用して、コールサインやナンバー交換などログの事後修正を行うことは禁止。

**10.** ログに記載されたコールサインは、参加者による QSO により、オンエアで交換したものであること。

**11.** FT4 および FT8 モードだけが使用できる。

**12.** それぞれの QSO は、オペレーターによる動作を必要とする。例えば、QSO の相手を選択すること。

**X. ログ提出方法:** 電子的な手段による提出が、すべての参加者に求められる。

**1.** ログはそれぞれの交信について以下の項目が表示されていること: 正確な日付と UTC 時刻、周波数(またはバンド)、コールサイン、送信したナンバー、受信したナンバー。これらの記載がないログはチェックログ扱いとなる。交信完了後ただちに記録されていること。ワールドと大陸のアワードを目指す局は、正確な周波数をログに記載しなければならない。

**2.** シングルバンド参加者は、コンテスト期間中の(他バンドを含む)すべてのコンタクトを記載すること。キャブリロ・ヘッダーまたはサマリー上に明記された参加バンドのコンタクトのみが得点計算に用いられる。一つのバンドのみのコンタクトが記載されたログは、シングルバンド部門での参加と見なされる。

**3.** キャブリロ形式がログの標準形式である。キャブリロ・ヘッダーの詳細に関しては、<[ww-digi.com/cabrillo.htm](http://ww-digi.com/cabrillo.htm)> を参照のこと。ヘッダー部分の表記の間違いは、他の部門へのエントリー替えやチェックログの扱いになるので注意。注: USA とカナダの局はキャブリロ・ヘッダーで運用地点を表記すること (例 LOCATION: OH) それ以外の局は'DX' (例, LOCATION: DX)を表記する。  
使用するロギングソフトウェアがキャブリロ形式を出力できない場合は、<[ww-digi.com/adif/](http://ww-digi.com/adif/)> の ADIF 変換器を使用して、ADIF ログをキャブリロに変換すること。

**4.** ウェブ・アップロードによるログの提出が推奨される。ウェブ・アップロードは <[ww-digi.com/logcheck/](http://ww-digi.com/logcheck/)> で利用できる。

**5.** キャブリロ形式以外の電子ログを提出するには: キャブリロ形式のログが提出できない場合は、コンテストディレクターに他の形式での提出について相談のこと。

**6. 受付確認:** 受け取ったすべてのログは、電子メールで確認される。受け付けられたログのリストは <[ww-digi.com/logs\\_received.htm](http://ww-digi.com/logs_received.htm)>で見ることができる。

**7. ログの撤回:** 参加者は、ログ締め切りから 30 日以内であれば、理由を問わず、提出したログを撤回できる。方法についてはコンテストディレクターに連絡のこと。

**XI. ログの締め切り:**

**1.** すべてのログは、コンテスト終了後5日以内に提出すること。2020年9月4日 2359 UTC 必着 締め切り後に再提出されたログは、締め切り後の提出と見なされる。

**2.** 締め切りの延長は電子メールで <[questions@ww-digi.com](mailto:questions@ww-digi.com)> へ申請する。延長申請には正当な理由が示され、かつ、ログの締め切り日前に受領されていなければならない。ログ締め切り延長はコンテストディレクターの確認をもって認められる。

**3.** 締め切り後に提出されたログは、結果に掲載されるが、アワードの対象とならない。

**XII. 判定:** WW Digi DX コンテストコミッティは、コンテスト・エントリーの審査と判定についての責任を有する。参加者にはルールへの遵守と最良のアマチュア無線運用が期待される。コンテストルールの違反やスポーツマンらしくない行為に対してはコミッティの制裁措置がとられる。

**A. スポーツマンらしくない行為:** 以下に挙げる行為が該当するが、これらに限らない:

**1.** コンテスト中またはコンテスト終了後に、電話、電話、インターネット、インスタントメッセージ、チャットルーム、IP 電話、ソーシャルメディアやウェブサイトなどといった、アマチュア無線以外の手段で、QSO をアレンジしたり確認したりする行為。

**2.** 免許の範囲を超える周波数による送信。

**3.** バンド切り替えなどのルールに合わせるため、ログの時刻を修正する行為。

**4.** 過度の確認できない QSO やマルチプライヤーの記載が認められること。

**5.** 他の局の運用の妨げとなる、劣悪な品質の信号。以下が該当するが、これらに限らない: 送信電波の帯域の過度の広がり(例、スプラッター、クリック、IMD)、他のバンドへの高調波、および過大なオーディオ・レベル。

**B. ルール違反に対する処置:** 違反があった場合は、コミッティの裁量で参加者は失格となることがある。

**1.** 失格となった局はコンテスト結果の最後に記載され、アワードの対象外となる。

**2.** コミッティの決定はログ提出時に提供された電子メールアドレスに通知される。通知を受けた参加者はコンテストディレクターに対して通知を受けてから 5 日間、コミッティの決定に対してアピールすることができる。アピール期間終了後に決定は最終となる。

**3.** コミッティはログの審査その他の情報に基づいて、参加部門を変更する権利を留保する。

**C. ログ審査:** 提出されたログはカスタム・ソフトウェアと人間の判断により審査される。

**1.** 重複交信は除外されるがペナルティは課せられない。

**2.** ナンバーを間違えて受信した場合、交信は除外されるがペナルティは課せられない。

**3.** コールサインの間違い(bust)、または相手方のログに該当する交信が見当たらない交信(NIL)は、得点計算から除外され、その QSO 得点にあたるペナルティが課される。

4. マルチオペレーター参加局でバンド切り替えルールに違反する交信は除外されるが、ペナルティは課せられない。

**XIII. 宣誓:** WW Digi DX コンテストにログを提出することによって、また、WW Digi DX コンテストコミッティのログ審査にかかる努力を考慮して、参加者は以下の各項に取り消し不能かつ無条件に同意する。: 参加者たる彼/彼女は 1)コンテストの規則を読み、そして理解し、それらの規則によって規制されること。2)運用地のアマチュア無線に関するすべてのルール、法律に従って運用したこと。3)ログは一般に公開される可能性があることに同意した。4)コンテストコミッティの失格その他の決定はオフィシャルかつ最終的なものであることを受け入れること。もし、上記のすべてに同意できない場合はエントリーしてはならない。あるいは、単にチェックログとしてエントリーすべきである。

WW Digi DX コンテストのルールに関する質問は、<[questions@ww-digi.com](mailto:questions@ww-digi.com)>へメールのこと。

よくある質問と答えは <[ww-digi.com/rules\\_faq](http://ww-digi.com/rules_faq)> を参照のこと。

*この翻訳は JA コンテスター向けに利便性を提供する目的で Mako, JA1XS と Hisami, 7L4IOU により作成されています。*

*オリジナルの英語版があくまでも公式なものです。*